

御詠歌CD制作について

四十三番 法城院

小牟田 昌彦

先ず初めに、今回の御詠歌作成に際し物心両面に渡りご賛同ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成三十年度霊場会総会承認を受け、各札所寺院様へ歌詞のご確認を賜り、高野山金剛講様より使用許可を頂き、いよいよ昨年度末より録音作業が開始いたしました。録音スタジオはプロの現場です。

私などは息をのんで見守るのですが、初めにクリック（メトロノームの様な拍子音）に合わせて鈴と鉦の音を録音します。

その後詠歌のガイドの音を録音。スタジオの技術者が調整。

この作業だけでも六時間ほど掛かるのですが、以て全ての録音の基本となる作業のため慎重な作業でした。

そして札所寺院様の御詠歌録音開始です。

様々な調整作業とともに録音をいたします。

一時間に一曲が目標ですが、初回は音作りの為、少しづつ作業を進めます。

深夜にわたる作業となりました。

そして二回目の録音は新年より開始いたしております。

全百八曲録音の道程は未だ遙かでございますが、一歩一歩進んでおりますのでどうぞご理解をお願いいたします。

ご詠歌の詠唱を含め録音作業、詠歌教師様の選任は四十一番天長寺 長谷川慈照僧正がお勤めくださっております。

大変有難いことでございます。

巡礼の皆様がお慶び頂きます様、努力いたしますので、完成の日を楽しみにお待ちしております。

記・九十五番 明王寺 吉水 亮善



九州八十八ヶ所百八霊場会

会報

第十号



発行者 九州八十八ヶ所百八霊場会

事務局 第八番札所 明王院

〒八二一-二四二一

福岡県糟屋郡篠栗町若杉五

電話 〇九二-九四七-七四六一

FAX 〇九二-九四七-六三四五

開創三十五周年にあたり

八十四番 法蔵院

堤 大恵

四年前の開創三十周年は丁度高野山開創千二百年の年に合わせて一年ずらして記念事業を行いました。

鎮国寺様を道場とした土砂加持先祖供養法要や高野山奥の院での開創三十周年記念法要等充実した一大事業でした。



そうした中で、今回の三十五周年は企画年数も短い中で検討した結果、記念事業は今後は十年をベースとして年ごとに各札所寺院ご負担を軽減して、参拝者の方々五に霊場の歴史等を広く深く知っていただく事業としていくこととなりました。

その一環として

一、参拝者に対しての特別御影

三十五周年の記念の年の特別御影を

限定一千枚配布

編集後記

まず、記事の作成において取材等ご協力下さった皆様へ感謝申し上げます。

今回は三十五周年に関する取り組みについての内容も多く、編集に当たり、広報IT委員会として九州八十八ヶ所百八霊場会での今後の役割を考える機会にもなりました。

今年度は新たな取り組みとしてインターネットを利用した会議なども行いました。新しい取り組みにチャレンジした経験は、また次年度以降の取り組みに活かしたいと思っております。

広報IT委員会

- |      |       |        |
|------|-------|--------|
| 福岡県  | 佐伯 公経 | 楠野 吉弥  |
| 佐賀県  | 松本 龍希 | 後藤田 亜光 |
| 熊本県  | 中村 禎成 | 那須 寛永  |
| 長崎県  | 前田 大輔 |        |
| 大分県  | 吉水 亮善 | 南 宗法   |
| 宮崎県  | 成松 昇紀 | 野田 応宜  |
| 鹿児島県 | 小島 聖弘 | 小島 正大  |

霊場会では、Facebookで最新の情報をアップしています。



それぞれの札所で、ご住職の想いや各地域の魅力にあふれた法要・行事ごとが行われています。是非足をお運び下さい。

二、三十五周年祝賀会

各札所寺院住職・副住職や各霊場会、協賛事業様をご案内して交流会を行い、開創より今日までのスライドショーや思い出話などを聞いて、懇親を深めてさらなる発展を願っていく企画

その他にも霊場寺院のご詠歌CDの作成や有志の方々での中国・赤岸鎮や青龍寺参拝などを企画しています。

平成より年号も変わる新時代の到来の中で、高瀬会長を筆頭に開創当初の思いを心に強く抱き霊場発展のために、出来ることをできる範囲心を込めて一意専心の念を持ち理事会で協議して札所寺院様のご理解、ご協力を頂き三十五周年記念事業を推進してまいりたいと思っております。ご期待とご支援の程よろしく願っています。

記・八十五番 観音寺 楠野 吉弥

霊場会

ホームページのご案内

九州88で検索

もしくはQRコードをご利用ください





記・四十二番  
弘泉寺  
成松 昇紀

御法楽ののち、渡辺先達委員長より開会挨拶と  
 参集御礼、  
 高瀬会長より、霊場会における先達の役割の大  
 きさについて御礼挨拶  
 続いて、第一番東長寺長老・藤田紫雲大僧正に  
 よる「佛前勤行次第」の解説の御講義を賜る。  
 特に、読経は文字を見ながら唱えることで妄想  
 を起こさない事や、先達として平日頃より菩薩行  
 に励むことの大事を説かれた。  
 休憩を挟んで、松山委員より、経頭の仕方につ  
 いての实地研修や、  
 桐井委員より『先達の手引き』（先達委員会発  
 行）を基に、現場での注意点などが指導された。  
 堤理事長より、霊場会三十五周年を前に先達が  
 先頭となって盛り上げて頂きたいとの総括。御法  
 楽を以て研修会を閉じた。

**巡拝講習会記**  
 平成三十年十月二十二日（  
 二十四日）  
 三十二番 光明寺 谷山 光信

十三ヶ寺参拝  
 参加人数 全日程参加 五十八名 一日目懇親会  
 六十名 二日目懇親会 六十七名

十月二十二日（月）晴れ。

百四番大智院本堂

開講式 1、開式の辞 2、ご法楽 3、霊場  
 会九番明王院高瀬会長挨拶 4、百四番大智院草  
 津住職挨拶 5、日程説明、諸連絡 6、閉式の  
 辞

百四番大智院札所である一階不動堂でご法楽の  
 後、出発。七十番宝光院、御詠歌が変更。

「ありがたや 黒髪山龍門の 清き流れし  
 百選の水」

六十九番西光密寺、六十八番無動院、六十七番  
 東光寺の五ヶ寺を参拝。湯元荘 東洋館（佐賀県  
 武雄市武雄七四〇八）に宿泊。旅館到着頃雨とな  
 る。

十月二十三日（火）曇りのち雨。

八時出発。十番光明寺・六十一番高野寺、雨が  
 降り出す。百三番大定寺・六十三番蓮厳院、重  
 要文化財・本尊前でご法楽させて頂く。祐徳稲荷  
 神社（昼食、参拝）この日一番雨が激しくなる。  
 百五番金剛寺、雨上がる。八十番鶴林寺、今回  
 の行程の中で一番お寺まで歩く。七ヶ寺を参拝。  
 ホテル&リゾート佐賀唐津（佐賀県唐津市東唐津  
 四・九・二〇）に宿泊。懇親会は大変盛り上が  
 る。

十月二十四日（水）晴れ。

八時三十分出発。八十一番大聖院、ご住職が鈴  
 鉦使って御詠歌をお唱え頂く。唐津おさかな村  
 （お買い物）それぞれ沢山購入する。六十番龍王  
 院 ご法楽、六十番龍王院原田住職ご挨拶。二ヶ  
 寺参拝

閉講式 1、開式の辞 2、霊場会九番明王院  
 高瀬会長挨拶 3、八十四番法蔵院堤理事長より  
 巡拝之証授与 4、次回当番支局代表挨拶 長崎  
 地区七十六番西福寺佐野副会長挨拶 5、諸連絡  
 6、閉式の辞

閉式後、昼食弁当をバスごとに配布。車内で食  
 べるバス、吉野ヶ里歴史公園で食べるバスと、そ  
 れぞれに、また来年会いましょうと。帰路に就  
 く。

記・四十二番 弘泉寺 成松 昇紀

**先達として経験した  
 不思議**  
 三十七番 香泉寺  
 桐井龍導（先達委員）

広報委員さまから「先達として経験した不思議」  
 との表題で原稿依頼を頂き、  
 これまでの体験を回顧し、様々な出来事を思い返  
 してみました。  
 限られた文字数で具体的な事例を挙げるのは難  
 しゅうございますが、  
 どの事例についても「不思議」より「御縁」を感  
 じることが多いです。

例えばバス車内で、  
 この皆さまは、一般の皆さんはこういうカタチし  
 か知らないと思うけど  
 こういうお祈りの仕方をする場合もあるのです  
 よ、というお話をしていたら、  
 たまたまその話題に則した具体的なカタチを見せ  
 ていただけたり。

お大師さまの逸話を話題にしていたら、御住職さ  
 まの御法話が、打ち合わせ無しに、たまたまその逸  
 話に則した内容だったり。  
 その土地でその季節にしか頂けない御接待を頂い  
 たり。

**第二十一回先達  
 研修会記**  
 平成三十年九月十日  
 三十七番 香泉寺 桐井龍導（先達委員）

先達委員会第二十一回先達研修会は、九月十日  
 （月）十三時三十分より、第一番東長寺さまにて開  
 催され、  
 約三十名の先達関係者が出席。



このような事は、決して偶然ではなく佛縁であ  
 り、道中で様々なお話を差し上げる中で結びついて  
 くるものでありますから、

そのときの御参加の同行の皆さんが喜ばれるお顔  
 は、まさに和顔に満ち、先達冥利に尽きる瞬間であ  
 ります。

先達研修会では指導する側に立たせて頂いており  
 ますが、  
 常々に「先達は偉いのではない」「佛さまのお役  
 に立つために自行を重ね内面を磨きましよう」とお  
 伝えしています。

そしてその先に見せていただけの御褒美が、今回  
 お示したような佛縁なのではないでしょうか。

